

# 週間漁海況情報—第6号

平成24年2月13日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

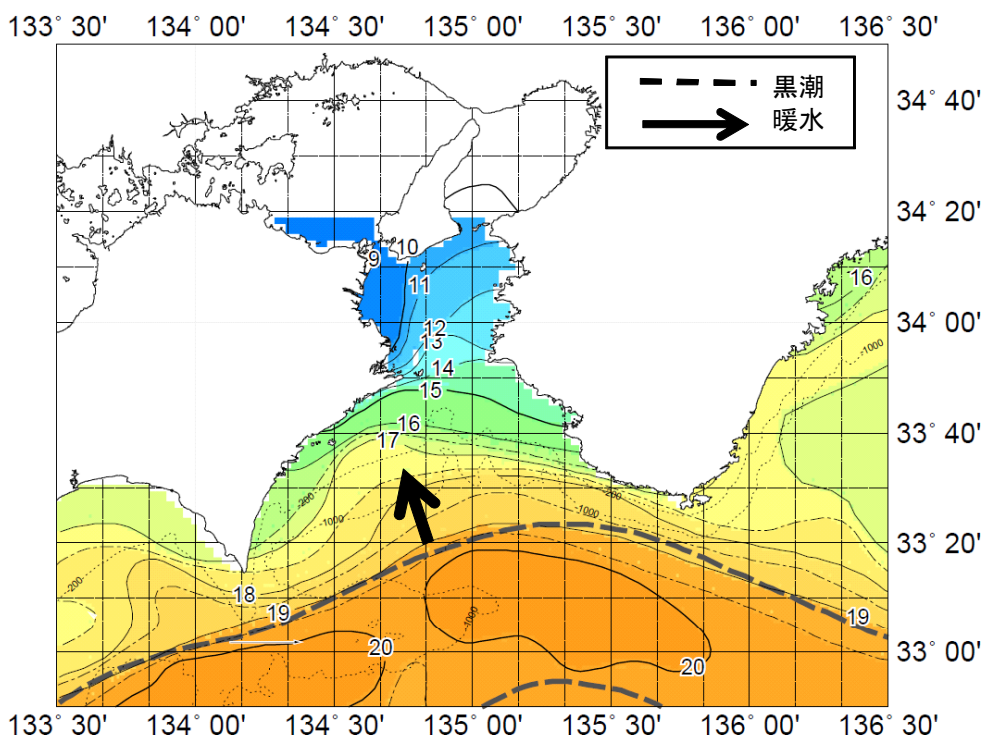
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.2.13）を示した。

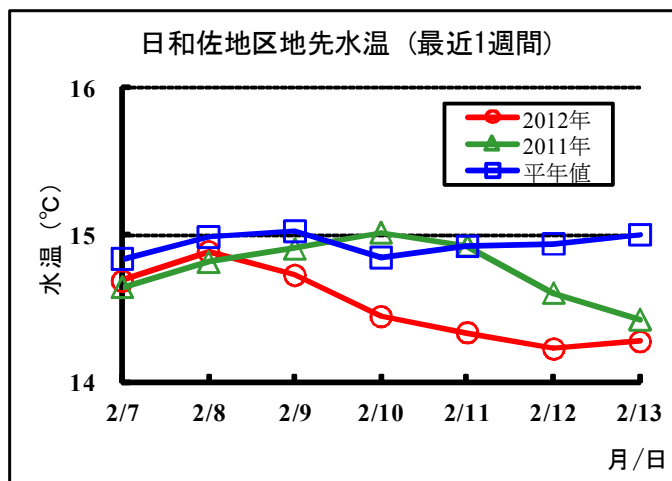
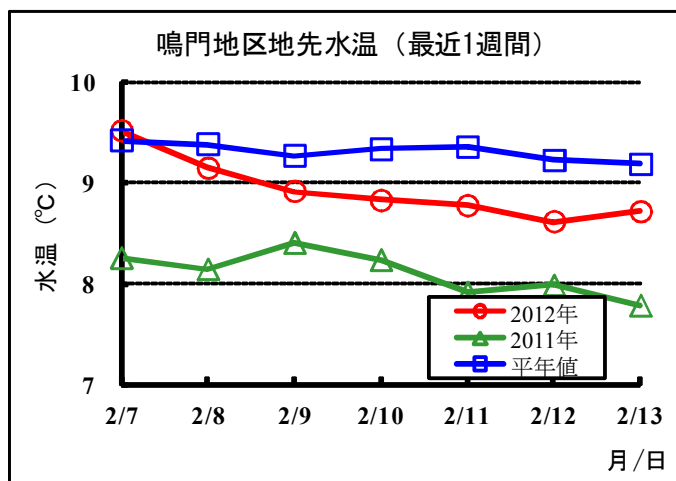
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から北向きに緩やかな暖水流入がある。



**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の8.6～9.5℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.2～14.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の13.6～16.1℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

**建網**：海部沿岸で中主体にヒラメが0.4トン（1日1隻当たり8kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で、カタクチイワシが0.6トン（同23kg）、キビナゴが0.2トン（同42kg）、メジナが1.2トン（同80kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で、小小主体にシイラが0.3トン（同48kg）、中主体にスルメイカが0.2トン（同38kg）、ブリが0.4トン（同63kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で大主体にアオリイカが0.3トン（同2kg）、大主体にゴマサバが1.4トン（同44kg）、タチウオが0.2トン（同82kg）、大・中主体にマサバが1.0トン（同29kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.6トン（同87kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2月6日～2月12日

県下6漁協から聞き取り						
漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
建網	海部沿岸	ヒラメ	50	380	8	中主体
小型定置網		カタクチイワシ	27	630	23	
		キビナゴ	5	210	42	
		メジナ	15	1,207	80	
大型定置網	シイラ	6	288	48	小小主体	
	スルメイカ	6	228	38	中主体	
	ブリ	6	380	63		
釣り	アオリイカ	145	348	2	大主体	
	ゴマサバ	32	1,422	44	大主体	
	タチウオ	3	245	82		
	マサバ	35	1,005	29	大・中主体	
	紀伊水道	タチウオ	7	610	87	特大主体

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年2月7日～13日の海部沿岸では、建網で中主体にヒラメが0.7トン、小型定置網でアオリイカが0.8トン、キビナゴが0.2トン、小主体にマルアジが0.3トン、メジナが0.6トン、大型定置網で大・中主体にアオリイカが0.3トン、大主体にクロダイが0.6トン、大主体にスルメイカが0.3トン、中主体にメジナが0.4トン、釣りで大主体にアオリイカが0.5トン、大・小主体にゴマサバが2.3トン、大主体にマアジが0.2トン、小主体にマサバが0.9トン水揚げされていた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖では「接岸」で推移する見込み。海部沿岸上灘では、次第に内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の8℃台、日和佐地先は「平年並み」の14℃台で推移する見込み。